

震災、人災の原発

この度の東
日本の震災の
その上、原発

により人が死な
は

生きろ

遠く、四圍の山の中に暮らして
いても、日々、テレビのニュースが
出てくれば、ありませぬ。

どうにか、うに行きたくても、まぐには
行けないし、交通費等を考えると、その
義援金にまわし、少しでも多くのカネを
と考へて



こまいました。
という事が、ボウマ
アに行くことは止め
お金という事に
に割り切りで、
その山でも毎になっ
ては、徳島県、三好
市の反応は、大変
遅いと感じました。
近くでは、岡山県
で、震災翌日から
現地に向ける人も
物と送り込んで
きました。
三好市は、おれ知
る所では、一回、支
物資をつめたとい
ふこと、世界から支
援があるというのに



4月、「てんてい新聞」休みま

さよまたすしん。

勝手は、4月15日の「てんてい
新聞」を休みました。
ご存知の様に、三月五日の東日
本震災の支援に、少しでも多
くの義援金をと考へ、この「新聞
にかゝる、コピー代、印刷代等を
ラスをし、カネをこまました。
また、松岡文庫にお送り頂いた
本の中、村松、村松にお受け
こいた児童書も、被災地のこ
ども達にお送りしました。
それにしても、三月十一日以降、
がどの様な人なのかを学ぶこと
は、はりました。心の糸が切れなけ
ないのが、おは。

原発への対応というか、対策は、怒りだけども
安全神話を金もつけの為に作りあげ、安全
という言葉集を高く売りつけたいのだ。
自然災害に果して、想定内、あるのぞくお
つか。それ程、人間は、自然を理解し、支配し
のぞくようか、私は、そうおもいません。
また、電力というエネルギーも、本当にそんな
必要はないぞくようか。「知る」という言葉が
あります。反対に、人間の欲望は、どこまでも続
のぞくようか。
原発は、たうに一回、何千年に一回ごと、たうに一回ご
その地は、住めなくなりま。単に地域エリアだけ
の問題は、ありません。今、福島の原発事故で
ど、世界が注目して居るのは、どうしてかを考へれば
よくわかりま。世界、地球が考へれば、日本は、
さな地域に、世界中心な注目を浴びま。
それだけ、様々な面が、全地球に影響がありま。
この様に、私たちが、まを、誰か、原発を推進
しているか、よく注目し、原発のネットワを作り
ましよう。

